

# 防犯大会

## 毎月7日を七ヶ宿町「かぎの日」に制定

10月15日、活性化センターにおいて全国地域安全運動安全安心まちづくり七ヶ宿町民大会が開催されました。

佐藤俊夫横川区長が「各家庭で毎月7日をかぎの確認の日として、家族で自宅のかぎの状態を確認し、戸締まり等の防犯の点検を実施しましょう。自らの安全は自ら守るといふ基本に立ち返り、かぎ掛けを励行して、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進します」と「かぎの日」宣言を行いました。

大会に先立ち、自主防犯活動に積極的に取り組み、安全で安心なまちづくりに貢献したとして、湯原宿防犯パトロール隊の高橋一登隊長に表彰状が授与されました。

大会では、白石警察署猪又憲一生活安全課長から「振り込め詐欺は被害額も大きく、お年寄りなど弱者を狙った卑劣な犯罪、被害に遭わないために自主防犯が大切」という講話がありました。防犯マジックショーや警察音楽隊の演奏も行われ、参加した方は楽しい中にも防犯に対する意識を高める機会となりました。

宣言をする佐藤横川区長さん

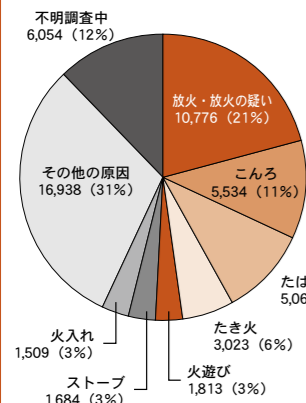


表彰状を手にする高橋隊長さん

## 「消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子」

11月9日から15日までの1週間、全国一斉に秋の火災予防運動が行われます。

2008年に全国で起きた火災は約5万2400件。このうち約6400件は放火が原因で、12年連続トップ。放火疑いを合わせると全体の2割強となります。学校が放火または放火疑いの火災は08年全国で約150件。病院、飲食店、遊技場はそれぞれ約40件ありました。



### 平成20年度火災原因の内訳 (全火災 52,394件)

日頃の寝たばこや台所の火元から離れない等の防災意識は大切ですが、人が多数集まる施設は放火の被害に遭うことを想定した消防訓練を行うことも非常に有効だと考えます。

これからは、空気が乾燥し、暖房器具を使うことが多くなるため、火災が起りやすくなってきますので、火の元には十分注意しましょう。

## 「まさか！」の火事

住宅用火災警報器でいち早く火災を知らせ、助かる命があります。

七ヶ宿町内の住宅用火災警報器の設置は77.4% (08/12/25 現在) です。

まだ、設置されていない家庭では、早めに設置しましょう。

取り付けが義務付けられている所 (寝室・台所・階段)

白石消防署七ヶ宿出張所

平成20年度

## 公立刈田総合病院の経営状況

診療機能の維持、充実に努めました

平成二十年度は、全国的な医師、看護師不足など、深刻な問題を抱える医療情勢の中、医師、看護師の補充が進まず、体制が十分とは言えない厳しい状況でのスタートとなりましたが、8月に赴任となりました病院院長を中心に、全職員が一丸となって診療機能の維持、収入の確保と経費の削減に努めました。

また、医療機器の整備においてはデジタル超音波画像診断装置など整備するとともに、病院情報システムの更新を行い、診療機能の充実と医療の高度化を図り、住民の皆様へより充実した医療を提供できるように努めてまいりました。

患者さまの数は、平成十九年度と比較して、延べ数で入院が一万八千四百七人の減少、外来は二万七千二百二十四人の減少となりました。

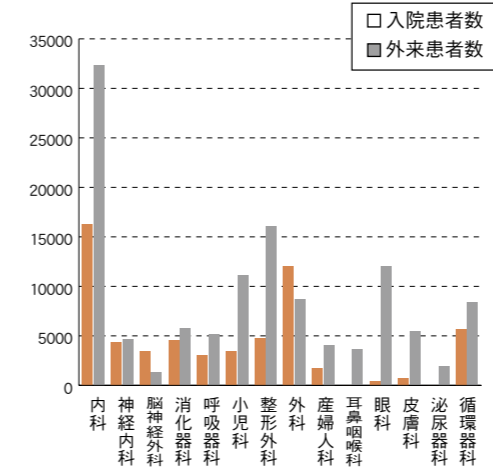
また、収入においては、入院収益で六億六千八百八十八万六千円の減収、外来収益では二億一千五百一十一万七千円の減収となり、収入総額は四十七億五千一百七十八万九千九百円で、前年に比べ三億一千六百二十九万円の減収となりました。

一方、支出においては、前年に比べ六億七千九百三十三万九千円の減少となり、費用総額は五十三億七千六百六十八万七千円で、収支差引引き六億二千四百八十九万八千八百の純損失となり、現金支出を伴わない減価償却費を除いた実質的な収支差引額は、二十三万三千一百一十円のプラスとなりました。

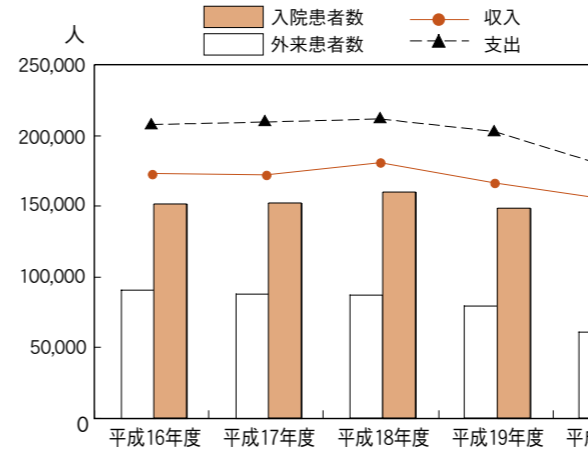
しかし、これは、平成二十年度決算収入には、構成市町から、臨時繰入金である運営費補助金六億六千九百九十九万九千九百九十九円が含まれていることによるものであり、診療収入の減少額をみてもらうように、医師不足に伴う患者数の減少により病院の経営状況は一層厳しさを増しているというのが実情となっております。

病院経営は依然として厳しい状況が続いておりますが、地域の基幹病院として、住民の皆様が安心して充実した医療を受けられるよう、診療機能の充実を図り、信頼される病院体制確立のため、職員の資質向上に努めるとともに収入の確保、経費の削減に努め、経営の健全化を目指します。

### 平成20年度 診療科別患者数



### 年度別状況



年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
入院 (人)	年延べ患者数	90,658	87,918	86,914	79,146	60,676
	一日平均	248	241	238	216	166
外来 (人)	年延べ患者数	151,288	151,844	159,634	148,196	120,972
	一日平均	623	622	652	605	498
収入 (千円)	5,245,331	5,222,795	5,454,898	5,068,079	4,751,789	
支出 (千円)	6,177,270	6,226,099	6,284,112	6,047,626	5,376,687	

### 資金不足比率の公表について

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
公立刈田総合病院事業会計	-	20.0%

※ 資金不足額がないので、「-」を記載しています。

(備考)

- 資金不足比率 =  $\frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$
- 資金不足額 = (①流動負債 + ②建設改良費等以外の経費の財源に充当するため起こした地方債の現在高 - ③流動資産) - ④解消可能資金不足額
- ※算定結果が「△」となる場合は、資金不足がないことを示します。
- ※②、④額については、当病院には該当額がありません。
- 事業の規模 = 営業収益の額 (医業収益) - 受託工事収益の額
- ※受託工事収益の額については、当病院には該当額がありません。

### 平成20年度 収入・支出

